

郷土竹原の歴史年表

郷土の歴史年表

郷土(古原)の歴史年表

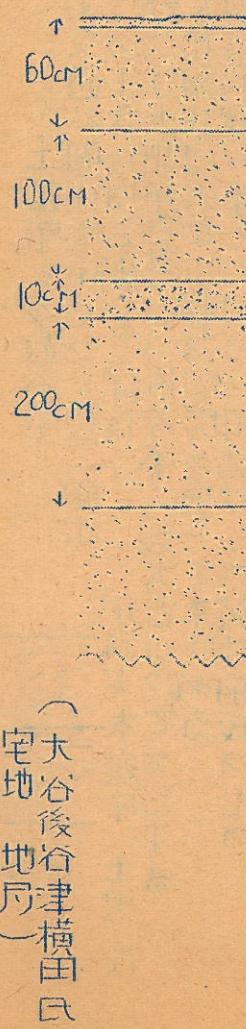
郷土学習資料 NO.1

五〇万年前

(洪積世
氷河時代)

・茨城の大部分は古東京湾(へぬ波半島)、スティゴトシ像(信像)ナウマシ像(南房)エリシカ(北茨)など横行
・後期 国東口→カヌマ土 火山灰として降りつづく

上部口・中部口・下部口・粘土月



数万年前

(先土器時代
海土器)

・霞ヶ浦、北浦、園部川などができ、日本列島の原型ができあがる
・舟漁を中心の人間生活がはじまり、先土器文化があこる

一千万年前

(沖積世
後水期化)
(縄文式文化)

数百万年前

(古原)
(縄文式文化)

・住居跡(はまだ発見されない)、土器(中丸地内(高木氏寄贈)小学校保存)、石器(中台(大正地主)木村氏蔵)、小曾納五行石(木村氏蔵)、火器(大正地主)、以上木村氏蔵

・大正地主(木村氏蔵)、以上木村氏蔵

BC三〇〇年

弥生式文化

貝塚は美野里、原台地にはないか隣接の王里、川川の台地に多い
狩猟のほか原始的農耕はじめる
台地に定住し部落ができる
木器、全屋器の使用はじまる
小枚庭からも住居跡が発見される

床土（砂、小じり）

灰・すみ片

黒土
床土
赤土

A.D.三〇〇年

古墳時代

大和朝廷は各地の部落国家の統一をすすめる
四道將軍やまとたけるの神話はこの時代前後のもの
氏族政治がゆきわたる國造・県主・郡村までこの地域の豪族の支配がかかる

古墳出土品
大塚へ愛宕塚
明石塚
羽黒塚
権現塚
土師器（高杯）
須恵器片

土器片を多數発見
交通公園作業中で（8.25日）現状
のまま後日と期して保存

保母（区長）

前後円墳

土師器片

切子玉

保母（区長）

前後円墳

土器片

土器片

土器片

六四五

大化元年

奈城、那珂久慈多珂新治筑波の六国が統一されて常陸國となる

六四六

大化二年

國府（石岡小学校の地）あがれ
安候駅（安居）への古代駅路が通する

七一三

和銅六年

常陸風土記この頃成る

七四一

天平十三年

府中（石岡）国分寺が建立される

七七〇

宝龜二年

弓削直鏡下野薦師寺へ配流される
源孝謙天皇宮並びに直鏡社の祀られたのはこのころか？

八〇五

延喜元年

最澄（伝教大師）天台宗をはじめる

八〇九

天慶二年

空海（弘法大師）真言宗をはじめ
高望上総介として赴任しのち任地に住みついた

八一〇

延喜二年

菅原道真つくしへ流罪となる
この頃、小曾納鹿島神社が建立されたといふ

八一三

延喜二年

平将門むほれを起す
このころより本地垂迹説が云まる

八一六

永承四年

阿部頼義奥州阿部頼時父子を征伐
奥州阿部頼時父子を征伐木村の旧奥州街道（アマ坂）を画る
刈部頼時貞住心海法印によつて唐山さかる
に隣福寺泥塹を築く又そむき源義家によつて征伐される義家の軍

一一八〇 治承 四

下總權介平元常 原頼朝の命によつて佐助義政を大矢橋(大谷)の上に斬る

大谷の斗勝神社が建てられ佐助義政も祭る

一三八七

元中一

小田五郎 難台山(高岡)に兵を擧げる(難台落城記写本・小学校)

一三九〇

応永年中

中郷鳳林院南基される

一四〇二

文明一三

中台香取神社 下總国香取大社より園宮分社される

一四六九

永禄二

鳳林院が大雄院第ニ世信中永薦大和尚により中興開山される

一五五九

天正一六

同耳椿山稻荷神社佐原城の城地守護の鳥(鬼門のオ角椿山)に氏神となるとして祭られる(二月八日)の録曰かとその曰と言ひれる

一五六一

永禄四

栗原掃部衛門 供養の碑を建てる(現佐原中敷地内)

一五七八

天正一六

水戸城主江戸重道守中城を攻める佐原弓削堡落城する

一五九四

文禄三

佐原義寔小田氏攻撃のため佐原に陣を置く

一五九八

天正一六

このころ小曾納鹿島神社兵火の爲焼失する

一六〇二

慶長七年

佐原氏秋田へ移封 会津より秋田城介完戸城へ移り佐原全村を領有

一六〇四

元和元

完戸五石に含まれる

一六〇四

元和元

この頃現在の佐原廻りの道路ができる

一六〇五

正保元

完戸二代城主秋田河内守俊季 奥州三春に移封される

一六〇六

正保元

本村一円幕府直轄地となつて関東郡代^{伊奈半左衛門}伊奈半左衛門市原次太夫

一六〇八

正保元

佐原氏が行ゆれる 現存する検地帳の写しはこの年行ゆれた検地帳が最も古いと言ゆれる

一六〇九

正保元

鶴川家光より永福寺鳳林院 馬場村鹿島神社へ朱印地を授けられること

一六一〇

慶安三年

佐原上郷中郷と三箇村が境界を争う

一六一一年

寛文五年

検地が行ゆれる 現存する検地帳の写しはこの年行ゆれた検地帳が最も古いと言ゆれる

一六一六年

正保三年

佐原以北は土浦城主土屋侯と佐本の領地となり佐原以南は幕領となる

一六一七年

寛文二年

土浦土屋侯領分を検地する

一六一八年

寛文五年

佐原より南は須本内藤出雲守の知行地となる

一六一九年

寛文五年

所へ訴える 同一年解决

一六八〇

一六八二

一六九〇

一六九五

一六九九

一七〇〇

一七〇一

一七〇二

一七〇三

一七〇四

一七〇五

一七〇六

一七〇七

一七〇八

一七〇九

一七一〇

一七一一

一七一二

一七一三

一七一四

一七一五

一七一六

一七一七

一七一八

一七一九

一七二〇

一七二一

一七二二

一七二三

一七二四

四
五

中野谷鶴田村境界を争う

延宝八

天和二

元禄三

元禄八

元禄一

四
五

中野谷鶴田村境界を争う

府原上郷と府原中郷の間に草刈場の争い起る。翌元禄解決。

府原以北は十石を除いて過半戸松平大炊頭の領地となる。
（金野附小曾羽大谷羽島）明鳥院の井は今小曾羽大谷全村完戸領

府原上郷大谷村境界を争い同互解决。

馬場村、府原上郷村に境界争いが起る。

府原以南は、庄主新庄候と天領道本の知行地となる。

（中郷馬場）この頃の御定書、ケ笨中郷、赤塚信由氏より小学校へ寄贈され保存。

同年悪星の農民、花野井地内を開墾し花野井より訴えられる。

府原上郷同新田と中野谷村草刈場を争う。

元月府原上郷奥州守山藩松平大掌守の領地となる。以後明白新

府原上郷村草刈場を争う。

関東地方に大洪水起る。

関東地方に大地震起る。

天災のあとに旱魃で五月長雨

（まで続く）八月一七日大雨が降る。七月一日と六日浅間山の噴火、砂が降

（て）大凶作の年であつた。

花野井村、中峰の開墾はじまる。

花野井、島田文右衛門水戸天狗党に参加する。

地組合に入る。その後西郷

幕府領と直隸領は知県事の支配となり。その他は西岡完戸、麻生松川

藩の管轄となる。

（九月羽鳥花野井中台）府原新田、中野谷、越屋、福島、泉、葛木、東、第二大区

（二少区となる）一月県の廢合により茨城新治西県となり、一三日村一円茨城県に

統合される。馬場村が上馬場と改称する。

（九月羽鳥花野井中台）府原新田、中野谷、越屋、福島、泉、葛木、東、第二大区

（二少区となる）一月県の廢合により茨城新治西県となり、一三日村一円茨城県に

統合される。馬場村が上馬場と改称する。

（九月羽鳥花野井中台）府原新田、中野谷、越屋、福島、泉、葛木、東、第二大区

（二少区となる）一月県の廢合により茨城新治西県となり、一三日村一円茨城県に

一九七二

明石五

花野井村、中野村草刈場を争う
福島南野村、中野村大谷小高村は第五大区九小区となる
庄原上郷、谷同新田、中野谷、中郷上馬場、鶴田、三箇は第五大区十小区となる
宿駅伝馬助の削度廃止
申戸籍がござり今までの人別宗門帳が廃止(前年)
字周發布

一八七三

明石六

旧村役人名主庄屋を廃止する
庄原に小学校を設立する 明治元年生の人がはじめて小学生と
なる
地租改正条令公布

一八七五

明石七

新治県が合併現在の茨城県となる
属して堅倉と聯合中野谷に事務所をおく
扶桑村は總て第一大区九小区に
土地地押調査を行つ一筆ごとに測量をする(はじめて土地に地番)
茨城県の人口 ハ五百七十八人

一八七六

明石八

新治県が合併現在の茨城県となる
属して堅倉と聯合中野谷に事務所をおく
扶桑村は總て第一大区九小区に
土地地押調査を行つ一筆ごとに測量をする(はじめて土地に地番)
茨城県の人口 ハ五百七十八人

一八七七

明石九

新治県が合併現在の茨城県となる
属して堅倉と聯合中野谷に事務所をおく
扶桑村は總て第一大区九小区に
土地地押調査を行つ一筆ごとに測量をする(はじめて土地に地番)
茨城県の人口 ハ五百七十八人

一八七八

明石一〇

羽鳥大谷小曾納花野井中台は羽鳥に戸長役場を設ける
市原上郷同新田中野谷中郷上馬場三箇喜田は庄原に戸長役場を設ける
地券発行 明治ニ一年土地台帳ができるまで使用

所原にはじめて消防組織ができる
西南戦争起る
西原事件(富松正安・玉小嘉一等)

一八八七

明治一二

大日本憲法発布される
ハ月一五日市町村制が施行され庄原村が誕生する
一一月小野鷹平氏初代村長となる

清戦争起る
曰露戦争起る

一八九四

明治一三

大谷地内鉄道が通る(土浦・反郡)
大字羽鳥ヒ山崎新田境界を争う

中郷小学校が庄原小学校分校となる

第一次世界大戦起る曰本軍青島を占領

未亜暴騰(一億
はじめて国勢調査実施
旱ばつの鳥植付不能の水田一町八反歩ができる

満州事変起る

曰華事変はじまる 小学校を国民学校と改称

太平洋戦争はじまる

昭和六年

一九四一

大本営はじまる

大本営はじまる 小学校を国民学校と改称

一九三七

大本営はじまる

大本営はじまる 小学校を国民学校と改称

大本営はじまる

大本営はじまる 小学校を国民学校と改称

一九四五

昭和二十

八月一五日太平戦争終る

一九四七

タクニニ

日本國憲法の施行をはじめとして農地改革・学制改革など民主化がすすめられた

一九五六

タクミ一

八月一日堅倉村と合併美野里村誕生

一九五八

タクミ三

国道六号線竹原地内を通る

一九五九

タクミ四

町制施行によって美野里町誕生

一九六四

タクミ五

町原小学校中郷分校が統合

一九六六

タクミ六

統合町原小学校（現校舎）二期工事完成